

| 経過   | 入院日 ( / )   | 手術日 ( / )   | 手術後1日目 ( / )  | 手術後2日目～3日目  | 手術後4日～退院まで  |
|------|---|---|---|---|---|
| 観察   | 血圧、脈拍、酸素飽和度などを確認します。<br>  | 手術後は、2時間毎に血圧、脈拍、酸素飽和度、痛みの状態、出血の有無など翌朝まで確認します。   | 体温、血圧、脈拍、酸素飽和度、痛みの状態、出血の有無など確認します。<br>  |   |   |
| 安静   | 制限はありません。   | 手術後は翌朝までベッド上で過ごします。寝返りは行って頂いて構いません。<br>  | 痛み止めを使いながら、少しずつベッドから離れる練習をします。初回の歩行は、看護師が付き添います。歩行が安定していれば、病棟内を自由に動くことができます。  | 制限はありません。   |   |
| 食事   | 食事が食べられます。絶飲食の時間は看護師から説明があります。  | 手術前は絶飲食となります。朝、医師の回診後に飲食の許可がでます。開始時間は看護師から説明がありますので、お待ちください。  | 制限は特にありません。   |   |   |
| 清潔   | 入浴が出来ます。<br>   |   | 看護師の介助で身体拭きを行います。<br>  | 背中痛み止めが抜けたら、入浴が出来ます。  |   |
| 排泄   | トイレに行くことができます。  | 手術後は排尿用の管（尿管カテーテル）が挿入されてきます。<br>   | 離床状況に応じて、排尿用の管の抜去を検討していきます。   | 排尿用の管が抜けていればトイレに行くことができます。<br>  |   |
| 診察   |   | 手術後医師より家族の方への説明があります。<br>  |   | 適宜、傷の状態を診察します。  |   |
| 処置   |   | 心電図モニターを装着します。下肢血栓予防のために、フットポンプを装着します。<br>   | 朝、医師が心電図モニターを外します。  | 術後2日～4日は痰を出しやすくするため、ネブライザーを実施していきます。  |   |
| 検査   | 入院前の検査（胸部レントゲン、心電図、採血）が済んでいない方は、必要に応じて検査があります。  |   | 血液検査を行います。<br>  | 適宜、検査を実施していきます。   |   |
| 薬物療法 | 持参の内服薬を看護師または薬剤師がお尋ねします。  | 手術時、背中に管を入れます。そこから痛み止めの薬を入れます。効果が不十分な場合は他の鎮痛剤を使用しますので、痛みがある場合は、看護師に伝えてください。手術後、痛みに合わせて痛み止めを使用していきます。<br> | 医師の指示に従います。   |   |   |
| 説明   | 病棟内の案内をします。入院後のスケジュールについて説明します。また、せん妄予防についてせん妄パンフレットに沿って説明します。  | 御家族の方は、手術中内容の変更や不測の事態に備え、手術が行なわれている間、病棟内での待機をお願いします。  |   |   | 退院前に、術後経過についてお話しします。<br> |
| 指導   | 薬剤師が薬の説明にうかがいます   |    | 飲水開始後から痛み止めの内服が始まります。看護師が内服の有無を確認します。   | 日常生活の疑問点や不安点がある時はその都度説明します。看護師に伝えてください  | 退院後の生活に不安が無い  |
| 目標   | 身体的に問題がなく手術に臨むことができる<br>オリエンテーションの説明内容が理解できる  | 手術後、創部からの出血などの異常が早期に発見される<br>痛みへの対応がスムーズに受けられる  | 痛みのコントロールをしながら、離床が出来る。食事開始後も腹部症状なく経過すること出来る<br><br>転倒転落なく安全に過ごす事ができる  |   |   |

※症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。